地域おこし協力隊通信

お気軽にご参加ください。投票期間は１２月４日まで、１日１回毎日投票可能です。

投票ＵＲＬ





こんにちは！
今月号は印芋橙がお伝えします！

みんなでつくった、夏の思い出

この数か月間、様々なイベントに参加して、皆さんと楽しい時間を過ごすことができました。

大堀の「ままけぇ食堂」では初めて太巻き作りを体験しました！子どもたちや地元の方々と一緒に作った太巻きは格別のおいしさで、思わずいっぱい食べてしまいました。

富沢の「モグモグ食堂」では調理には参加できませんでしたが、子どもたちやおばあちゃんたちと一緒に食べたキーマカレーのおいしさは忘れられません。

そして夏の思い出といえば「前森高原サマーフェスティバル」です。当日はたくさんのお客さんや出店者でにぎわい、事前準備から当日まで本当に充実した時間となりました。

夏もあっという間に過ぎ、これからは秋、芋煮会がとても楽しみです。

最後に・・・「世界ご当地キャラグランプリ」の挑戦はまだまだ続いています！

引き続き、モガンバ君の応援をよろしくお願いします！

男の炊き出しクラブ「スープキッチン」始動！

集落支援員だより

今年度から、向町地区コミュニティ推進会議の会員など７名で、男の炊き出しクラブ「スープキッチン」が活動を始めました。料理を通じて地域の人とつながりながら、いざというときにも力を発揮できるチームを目指しています。

代表の小林智輝さんによると、活動の目的は、ＮＰＯ法人アルカディアもがみが開催する「みんなの食堂（子ども食堂）」への協力と、災害時の炊き出しなどに備え、日頃から経験やチームワークを培うこと。

初活動となった８月３日の「みんなの食堂」では、焼きそば14㎏と五目ふかしご飯４升を調理し、70人の子どもたちに振る舞いました。大鍋を囲み、声を掛け合いながら調理するメンバーの姿も印象的でした。子どもたちからは「すごくおいしかった」「来年もぜひ食べたい」と喜びの声が寄せられ、笑顔あふれる初活動となりました。



向町地区集落支援員
今井　正明



【連絡先】向町地区コミュニティ推進会議 事務局（アルカディアもがみ内）
電話　４３－９２７０
担当　遊佐 または 今井

まちトピ town topic

小国の名工より遺された文化財を寄贈いただきました

この度、最上町指定有形文化財「のうめんづ」を長年管理されてきた菊池作子氏（向町）の意向により、町へご寄贈いただきました。「のうめんづ」は、出羽勘七の初代として伝わる「一小刀軒木龍（いっしょうとうけんぼくりゅう）※」が安永元年（１７７２）１２月、４１歳の時に描いた彫刻の下絵で、巻物状の和紙に計１６種の面図が墨書きされたものです。巧みな筆使いや力強さ等、木龍の卓越した腕前の表れるこの作品は、江戸期より小国（現在の最上町）を拠点に活躍した優れた職人集団「小国大工」の歴史を裏付ける貴重な資料として、昭和６０年７月２５日に町有形文化財に指定されています。これまで大切に守り伝えられてきた寄贈資料は、今後も町で大切に保管の上、公開活用等を行って参ります。



※本名は菅嶋宗右衛門といい、享保１６年（１７３１年）現大字東法田字初ヶ沢に生まれ、享和元年（１８０１年）１２月２８日に７０歳で没する。法名は空仏海木龍居士。小国大工を代表する名工の一人で、新庄藩の御用彫刻師でもあった。



固定資産評価委員に山口澄夫氏が再任

９月町議会定例会におきまして、町固定資産評価審査委員会委員に山口澄夫氏（下白川）が再任されました。同氏は、新庄もがみ農業協同組合に勤務された経歴を有し、豊かな経験と識見をお持ちであることから、引き続き委員を務めていただくことになります。

固定資産評価審査委員会は、土地や建物の登録された価格（評価額）についての不服を審査し、決定するために設置された中立的・専門的な第三者機関です。再任後の任期は、令和８年１０月１日から令和１１年９月３０日までの３年間です。

共に育てた「シルクスイート」を収穫

１０月８日、山形県立新庄志誠館高等学校最上校の１年生７名が、赤倉の産直ゆけむりの畑で、６月に産直ゆけむりの会員と一緒に植え付けたさつまいも「シルクスイート」を収穫しました。

生徒たちは、一人ひとり手作業で丁寧に土を掘り起こし、さまざまな形に成長したさつまいもが顔を出すたびに、驚きの声を上げていました。植え付けから収穫までを体験し、充実した収穫作業となりました。今後は、収穫したさつまいもの新たな活用方法についても、一緒に考えていく予定です。





